

やまなし災害支援官民連携構築検討プロジェクト

野口健能登半島地震被災者支援報告

— やまなし被災者支援連携体制づくりを考える —

日時：2024年6月9日（日）13時30分～16時00分

場所：山梨県立図書館 イベントスペース西（甲府駅北口すぐ）



山梨県での災害支援における、官民連携、行政とNPO・ボランティア等との連携・協働（三者連携）について、みんなで考えてみませんか。

プログラム

- 13:15 開場
- 13:30 開会
野口健能登半島地震被災者支援報告
- 14:10 被災者支援連携体制づくり
能登半島や全国の官民連携事例から
全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）
事務局長 明城徹也さん
- 14:40 休憩
- 14:50 ディスカッション
野口健さん、明城徹也さん
ファシリテーター：高木寛之さん
山梨県立大学人間福祉学部福祉コミュニティ学科教授
- 15:30 会場から質疑応答
- 16:00 閉会

定員：100人 参加：1,000円

参加申込：
募集サイト：<https://forms.gle/rLAfb41FwHeh72B29>



申込QR

または下記メールで、件名を「9日イベント参加」
お名前、居住の市区町村、所属団体（任意）をご連絡ください。

主催：認定NPO法人富士山クラブ
山梨県南都留郡富士河口湖町西湖2870
電話：090-7250-7210 メール kyumin@fujisan.or.jp



シンポジウム開催趣旨

当クラブ理事長であり、国内外で被災地支援を行っている NPO 法人ピーク・エイドの理事長でもある野口健さんが、能登半島地震被災者支援活動について、支援活動が官民連携でどのように行われたか、山梨県内事務所でのボランティアによる支援物資の準備作業から現地での支援活動への連携、現地での活動など、いまでも続く活動についてお話するほか、富士山噴火や南海トラフ地震と大きな自然災害が起こる危険性が高まっている現状で、山梨県の被災者支援連携について、今できること、すべきことを、これから整えていくべき必要なしくみづくりについて、専門家とともに議論していきます。

NPO 法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD) とは

東日本大震災では、多くのボランティアや支援団体が被災地に駆け付けました。しかし、事前の連携体制が十分に構築されていなかったため、支援の全体像が把握できず、現地での調整（コーディネーション）が困難な状況でした。また、政府・行政（省庁・都道府県・市町村）や企業などとの連携体制の議論に関しても、限定的であり、有効に機能したとは言い難い結果となりました。被災者支援の「漏れ・抜け・落ち・ムラ」を防ぎ、地域ニーズに合った支援活動を促進するため、被災地域の関係者と協力してニーズや支援に関する情報を集約し、支援活動の調整機能としての役割を果たします。（HP より転載）

山梨県の災害支援体制について 災害ボランティア活動体制（R6 年山梨県防災計画より）

現在、山梨県社会福祉協議会及び日本赤十字社山梨県支部において、災害ボランティアの育成が行なわれているが、引き続き山梨県社会福祉協議会や山梨県ボランティア協会等との連携のもと育成強化に努めるとともに、ボランティアの自主性を尊重しつつ、その活動環境の整備を図る。また、県は、市町村と連携し、広域的なボランティアの活動拠点の整備に努めるとともに、平常時の登録、研修、災害時におけるボランティアの受入・調整を行う体制、被災者 ニーズの情報提供方策等について、市町村社会福祉協議会等との連携を強化していくとともに、県災害救援ボランティア本部の運営本部体制を構築する。

※シンポでは、今後、この赤い部分のしくみづくりを考えていきます。

